

指定管理者評価シート

| | | | |
|-----|---------------|-----------|-----------------------------|
| 事業名 | 老人福祉センター運営管理費 | 所管課(電話番号) | 保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976) |
|-----|---------------|-----------|-----------------------------|

I 基本情報

| | | | |
|---------|--|------|-------------|
| 1 施設の概要 | | | |
| 名称 | 札幌市西老人福祉センター | 所在地 | 西区二十四軒4条3丁目 |
| 開設時期 | 昭和58年1月 | 延床面積 | 1,702㎡ |
| 目的 | 老人に対する福祉の増進 | | |
| 事業概要 | 老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること | | |
| 主要施設 | 大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室 | | |
| 2 指定管理者 | | | |
| 名称 | (社福)札幌市社会福祉協議会 | | |
| 指定期間 | 平成26年4月1日～平成30年3月31日 | | |
| 募集方法 | 非公募 非公募の場合、その理由:当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員の間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者にも不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。 | | |
| 指定単位 | 施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由: | | |
| 業務の範囲 | 施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務 | | |
| 3 評価単位 | 施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由: | | |

II 平成28年度管理業務等の検証

| 項目 | 実施状況 | 指定管理者の自己評価 | 所管局の評価 | | | | |
|--------------|--|---|--|---|---|---|---|
| 1 業務の要求水準達成度 | | | | | | | |
| (1)統括管理業務 | <p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼設置目的を実現すべく、当法人が掲げる5つの原則(人間性、平等性、サービス性、地域性、効率性)に基づき、①人にやさしく、心のかよい合うサービスの提供②誰もが安心して等しく利用できる施設づくり③サービスの質の向上と改善④地域から愛され信頼される施設づくり⑤効率的な運営の推進の5つの基本方針を策定している。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼平等利用に関する方針や取組内容を策定し、事務室に掲示するとともに各職員に周知し、徹底を図った。 特に、定員制講座受講生の決定においては、公開抽選にて行う等、平等性及び透明性の確保に努めた。</p> | <p>当法人の基本理念及び札幌市の高齢者施策・方針に基づき、適正な管理運営を行うことができた。</p> <p>平等利用に関する方針や具体的な取組内容を事務室内に掲示するとともに、内部研修にて職員の認識を深めたことにより、適正に対応できた。</p> | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>仕様書に沿って適切な管理がなされている。 研修により積極的に各方針等について職員の認識を深めている。</p> | A | B | C | D |
| A | B | C | D | | | | |

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼内部研修等により全職員が環境保全行動計画に則り意識を持ちながら、「電気、水道、燃料及び紙などの使用量の削減」を図るべく、冷暖房や便座などの器具のこまめな時間設定及び温度調節を行うとともに、古紙使用率の高い再生紙や、ガイドライン指定品の使用他、委託業者の消耗品も環境に配慮したものを指定する等徹底を図った。また、札幌市で推進するウォームシェアの取組みもイベント等で継続して実施した。

さらに、広く市民にごみ減量を意識してもらうため、自家製堆肥の講習も行った。

内部研修等で職員の環境保全に対する意識向上を図り、ごみ減量や環境に配慮した消耗品の使用を徹底した。また、ごみ減量の講習とともに節電節水の掲示等で、利用者の意識も高まり、協力も得られている。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼統括責任者である館長をはじめ、その職務代理者として次席の職員を指名した上、指揮命令系統、業務の担当を事務分掌等により整備・徹底した。

また、業務上必要な専門知識や技術、経験を有する職員を必要数配置するとともに、職場研修、外部研修等を通じて、更なる資質向上を図った。

責任者である館長他、必要な人員を配置した上で指揮命令系統を明確にし、円滑な管理運営を行った。

また、内外の各種研修を計画的に行うとともに、外部研修の内容を全職員対象に報告し、職員全体の資質向上も図れている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼情報を共有し職員の共通認識や資質向上を図るため、毎月定例で他施設との施設長会議を行う他、実務担当者レベルでの会議も定期で実施している。また、施設内でも毎日ミーティングを行うほか、月例での会議も実施し、より連携を図っている。

▼管理水準の維持とともに平等性を保つため、他法人との横断的な情報の共有も必要であることから、四半期に1回程度、老人福祉センター全10館による合同連絡会議も実施した。

各種会議で情報を共有することで、他施設における懸案事項や要望等も活かし業務の改善を図るとともに、施設内での周知を徹底することで各職員が同様の対応ができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼センターの管理運営において、専門的な知識・技術を必要とする業務については、指名競争入札により公平に業者を選定し、また、可能な場合は福祉関係団体へと委託している。委託者には、市民サービスの向上及び安全確保を十分認知させるとともに、業務遂行にあたっては、受託者の責任者・指揮命令・連絡系統を明確にしたうえで、現場での確認、日報・月報の提出の義務付けを行った。

第三者委託においてもサービス低下にならないよう、十分な安全確保、委託者への指示、検査、確認等十分に周知させるとともに、環境負荷の軽減についても指示を行い、確実な履行ができた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

| 開催回 | 協議・報告内容 |
|--|--|
| 第1回 2月24日 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画について ・平成28年度事業実績について（中間報告） ・高齢者の社会参加推進における老人福祉センターの役割について |
| <p><協議会メンバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区琴似二十四軒福祉のまち推進センター事務局長 ・西区二十四軒東第2町内会会長 ・西区第1地域包括支援センター センター長 ・西区二十四軒児童会館館長 ・センター教養講座講師 ・センター利用者2名 ・札幌市保健福祉局高齢福祉課 1名 ・西老人福祉センター館長 | |

センター管理運営水準の維持向上を図るため、各分野から様々な方に参加いただき、左記のとおり運営協議会を開催した。いろいろな視点から様々な意見をいただき、より充実した施設運営をする上での参考とした。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼「社会福祉法人新会計基準」を基に経理処理を行うとともに、当法人の「経理規程」により適正に処理している。また、法人の監事監査や公認会計士による外部監査を定期的に行い、資金管理等の点検、確認を実施した。

▼現金等の取扱については、「経理規程」に基づく当法人施設福祉部の「経理事務の手引」により取り扱うとともに、外部監査や内部監査の定期的な実施、毎日の現金実査及び月末残高照会も徹底した。

規程や手引に則って処理を行い、適時現金実査を徹底するとともに、各監査によりさらに徹底を図りながら、適正な処理を行った。

▽ 要望・苦情対応

▼苦情等については、当法人の「苦情解決に関する規程」に基づき、制度・体制を整えており、迅速かつ適切な対応を心掛けるとともに、担当を明確にし、その旨を掲示し周知を図った。

また、苦情・要望等については、整理した上で月毎に札幌市に報告した。

苦情や要望に関しては迅速に対応するとともに、必要に応じて改善を図った。また、月毎に札幌市に報告するとともに、運営協議会でも整理した上で報告した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

▼会計帳簿をはじめ、施設運営に係る各書類を整理し、記録している。

▼モニタリングについては、総合アンケートを実施するとともに、館内に投書箱を設置し、満足度調査や要望等を把握した。

▼各種報告については、定期的に必要なもの、また状況に応じて報告するものを、遅滞なく提出した。

▼札幌市からの検査等については、速やかに対応するとともに、適時回答も行った。

▼自己評価については、様々な意見を確認した上で作成を行った。

アンケート等における意見については、ミーティング等で検討を行うとともに事業運営上の参考とした。また、書類等は適時整理し、必要時にはすぐに対応できるようにした。

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| <p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> | <p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼各種労働関係法令を遵守した就業規則に基づき、健全な雇用条件とともに労働環境の維持向上にも配慮している。また、当法人では、健康づくり担当職員を配置し、定期健康診断をはじめ、メンタルヘルス支援等の強化も図っている。</p> | <p>就業規則に基づく労働条件の維持はもちろん、各職員の意見を参考に業務改善等を行い、労働環境の向上にも配慮した。また、必要とする職員には、育児短時間休業も実施している。</p> | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>法令を遵守し適正に実施している。また、職員の意見をもとに業務改善を行い、労働環境向上に取り組んでいる。</p> | A | B | C | D |
| A | B | C | D | | | | |
| <p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p> | <p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼利用者の安全確保を第一に考え、開館前及び開館後に施設内外を点検し、設備・備品等の状況確認を行っている。また、「センター感染症ガイドライン」に則って感染症の拡大防止対策や、流行期の施設内消毒の徹底を図っている。</p> <p>▼総合アンケートや投書箱を設置すると共に、主に窓口等で利用者の生の声を聞きながら、事業の実施や改善、設備の環境整備を行っている。</p> <p>▼緊急時を含めた連絡体制を整備しており、常に最短の時間で連絡可能な態勢を確保している。</p> <p>▼施設内の賠償責任に備えて、所定の交差責任担保特約付損害賠償責任保険に加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼専門性が必要な清掃、保守点検業務、また効率的かつ効果的な管理のための夜間警備(機械警備)については第三者委託とし、それぞれ各仕様書に基づき適正な業務が遂行された。なお、日中の警備を兼ねた管理については、職員が適時巡回し行った。</p> <p>▼設備等の管理や修繕については、保守点検業者が定期点検の他にも適宜実施した。また、故障等で利用者から連絡を受けた場合には、職員が速やかに状況を確認するとともに、初期対応を行った。</p> <p>▼駐車場については、敷地内の安全確保とともに、近隣の安全確保にも配慮しながら巡視を行った。</p> <p>▼緑地等管理についても、美観の保持や近隣への配慮から、適時清掃を行った。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼施設利用者の安全確保を最優先とし、当法人の防火管理規程に基づきながら災害発生時の対応、非常体制、連絡網、通報関係等を、年2回(6/30、11/24)の訓練を含めて整備及び徹底を図った。また、災害時の一時待機や、ライフライン切断時等の緊急事態に備え、利用者や地域の安全・安心のため非常食も備蓄している。</p> | <p>ミーティング等の情報共有による事故の未然防止対策や、感染症予防として館内各箇所の消毒等を行う等安全確保を徹底した。</p> <p>管理上、専門性が必要な業務は、専門業者に委託したことにより衛生面や設備管理等での安全性が高められ、スムーズに業務遂行が図れた。また、駐車場や施設周辺については、定期的に見回り、適正な管理ができた。</p> <p>災害時の対応・通報する関係機関について事務所内掲示、内部研修及び定期的な訓練の実施によって、職員の認識を高め緊急時に迅速に対応できるように取り組んだ。</p> | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>利用者の安全確保がなされた管理を行っている。施設管理についても、良好に行われている。</p> | A | B | C | D |
| A | B | C | D | | | | |

| (4)事業の計画・実施業務 | ▽ 生活相談等に関する業務 | | A B C D |
|---------------|---------------|--|--|
| | | | <p>▼行政書士による相談や相談実績豊富な専門相談員による生活相談を、それぞれ月1回ずつ定期相談日として設けるとともに、館長や看護職員による各種相談を適時実施した。 相談件数 87件 満足度 78.18%</p> <p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼高齢者の健康維持・増進の支援として、また介護予防に供するため、各種の事業を実施した。 (1)医師等による健康講話 (2)参加・体験型の健康運動等 (3)介護予防に資する知識・情報の提供や支援・指導 (4)運動能力トレーニング、口腔・栄養教室の各種地域支援事業の実施 (5)看護職員による助言・指導等 (6)機能回復訓練室の運動器具の設置 ▼運動向上トレーニング事業の修了者の機能減退を防ぎ、健康的な生活を維持するためフォローアップとして支援した後、自主サークルグループとしての活動へ繋いだ。</p> <p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼健康増進や教養の向上等に資する多彩な講座を開講し、利用者の介護予防や生涯学習意欲の向上を図った。 (1)自由参加講座 カラオケ、民謡、舞踊、社交ダンス (延参加者数7,309人) (2)健康教室 ヨガ、身体に優しい健康体操、ふまねっと (延参加者数7,389人) (3)定員制教養講座 初級パソコン、書道、絵手紙、オカリナ、生け花、皮革工芸、木彫 (延参加者数3,298人) 申込定員参加率 100%／満足度 93.76%</p> <p>▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務</p> <p>▼利用者の健康増進、生きがいづくり及び豊かな生活の実現を支援するため、卓球、囲碁、将棋、オセロ、カードゲーム、健康マージャン、読書等の各種活動の場を提供している。また、季節毎の行事に加え、地域に根ざし、地域に開かれたセンターとしての協働行事や地域開放行事も開催した。 申込定員参加率 100% 満足度 96.42% ▼関係団体の協力を頂きながら、市民の健康意識の高揚を図るため、他の老人福祉センターと合同で「はつらつ健康まつり」を開催した。</p> |

▽ 老人デイサービス事業に関する業務

- ▼平成28年度延利用者数 5,500人(前年度5,314人)
- ▼要介護状態及び要支援状態にある高齢者に対し、それぞれのニーズに対応したサービスを提供することによって、利用者の心身機能の維持・向上を図り、住み慣れた地域で日常生活が送れるよう、以下のサービスメニューを実施した。
 - (1)送迎
個々の体調に配慮するとともに、乗降時の介助等の安全確保を徹底した。
 - (2)健康チェック
健康状態を把握するため、血圧・脈拍・体温測定を行うとともに、看護職員が必要なアドバイスを行った。
 - (3)入浴
プライバシー配慮から同性介助を基本とし、健康状態等に合わせた見守りや介助のもと、それぞれの生活習慣に合わせた快適で安心できる入浴サービスへの配慮を行った。
 - (4)排せつ
個々の状況に合わせて、声かけや介助等により排せつ動作等の維持を図った。
 - (5)食事
食事前に口腔体操を行い、利用者の咀嚼及び嚥下状態の向上を図った。また、栄養のバランスに配慮した食事を提供するとともに、疾病等を考慮した食事を提供した。
 - (6)心身機能の維持・回復
身体機能全般に効果のある体操やストレッチを行うとともに、必要な利用者には個々のニーズに対応した機能訓練を行った。また、季節に合わせた外出行事、社会性維持を目的とした老人福祉センター行事への参加、また、個別対応のレクリエーションも実施し、心身の活性化を図った。

利用者の個々の状態を常に把握し、日々のミーティングや定例の職員会議等で情報を共有することにより、サービスの向上を図るとともに、事故の未然防止も図れた。また、老人福祉センター併設の利点を生かし、地域の方々との交流や、多彩な行事の参加機会も多く、より活力ある生活の支援が図られた。

▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

- ▼講座期間終了後の自主的サークル活動、及び高齢者の健康づくりや趣味のサークル活動等に部屋の空き時間帯を開放し、活動を支援している。また、町内会等の地域団体や、介護予防センター等の福祉活動にも開放し、活動を支援している。

様々なサークル活動で利用されており、高齢者の自主的活動や生きがい支援に繋がっている。また、地域や福祉関係との連携構築にも繋がった。

▽ その他設置目的に関する業務

- ▼社会貢献活動の一環として、看護学生や介護体験等の実習生の受入れ、また、中学生の職場体験の受入れも行った。
- ▼隣接する児童会館との合同行事や交流事業、また地域福祉の推進を目的とした事業の町内会への案内や地域住民も対象にした介護予防事業等、地域と連携して様々な事業を行っている。
- ▼市民の健康増進を図るための「はつらつ健康まつり」や、利用者の創作意欲の高揚とともに老人福祉センターの一層の理解と利用促進を図るための作品展覧会を、他の老人福祉センターと合同で開催した。

実習生の積極的な受入や、地域との様々な連携事業を通じて、地域に根ざした施設として活動を行うとともに、地域への貢献が図られた。また、合同行事等によって、既存の利用者以外にも広く老人福祉センターの周知が図られた。

| (5)施設利用に関する業務 | ▽ 利用件数等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>69,836</td> <td>71,000</td> <td>67,991</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>6,068</td> <td>5,940</td> <td>4,923</td> </tr> </tbody> </table> ▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件 | | | H27実績 | H28計画 | H28実績 | 全体 | 人数(人) | 69,836 | 71,000 | 67,991 | 浴室 | 人数(人) | 6,068 | 5,940 | 4,923 | 9月までは前年同様の傾向で推移していたところだが、センター煙突内にアスベスト材の剥離が見られ、10月下旬から12月中旬の2か月弱の期間ボイラー停止となった影響もあり前年より3%弱の減少となった。また、同様にその間入浴は中止となったため、入浴利用も激減となった。 上記のとおり2か月弱のボイラー停止により、その間の 행사를縮小していたが、ニーズを把握しながら、それ以外の期間に健康関連の行事を進めたことから、延利用人員は減ったものの、行事の参加者数は昨年同様の参加があった。 | A B C D |
|---|--|---|----------------|--------|-------|-------|----|-------|--------|--------|--------|----|-------|-------|-------|-------|---|----------------|
| | | | H27実績 | H28計画 | H28実績 | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | 人数(人) | 69,836 | 71,000 | 67,991 | | | | | | | | | | | | | | |
| 浴室 | 人数(人) | 6,068 | 5,940 | 4,923 | | | | | | | | | | | | | | |
| ▽ 利用促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> ▼平成26年度から、従来の休館日である毎月の第1土曜日を開館することにより、利用者の利便性を高めた。 ▼イベントの開催情報等を適時町内会に回覧するとともに、地域の方にも参加いただける介護予防事業等の行事を実施し、地域福祉推進の役割を果たす施設としても取り組んだ。 ▼健康及び介護予防のニーズが高いことから、関連行事を適時開催するとともに、本年度からふまねつと教室を施設の主催教室とし、より多くの方が運動系の教室に参加できるようにしたことにより介護予防の推進を図った。 | A B C D | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6)付随業務 | ▽ 広報業務 <ul style="list-style-type: none"> ▼リニューアルしたホームページは親しみやすいレイアウトにするとともに、センター行事等の最新情報を掲載した。 ▼月1回のセンター便りに利用案内等の最新情報を掲載するとともに、札幌市の施策にかかる情報も掲載した。 ▼より広く市民へ周知を図るため、広報さっぽろへも適時イベント情報の掲載を行った。 ▽ 引継ぎ業務 <ul style="list-style-type: none"> ▼継続指定のため、引継業務なし | 施設内はもちろん、町内会へもイベント情報を周知することにより多数の方の参加があった。また、それにより新たに老人福祉センターを利用する方もあり、周知が図られていると言える。 | A B C D | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 自主事業その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ▽ 自主事業 <ul style="list-style-type: none"> ▼飲料の自動販売機を設置し、各種飲料を販売した。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 <ul style="list-style-type: none"> ▼業務委託、物品購入及び修繕等では、市内企業を中心に発注した。 ▼障がい者団体に定期的な古紙回収を依頼し、障害者支援事業に協力している。 ▼清掃業務委託については、札幌市母子寡婦福祉連合会に委託した。 ▼複数の障がい者団体と連携して、施設内で定期的にパンの販売ができるコーナーを設けている。 | 各種飲料を販売し、利用者への利便提供を行った。 業務委託や物品・修繕の受注においては市内企業を積極的に活用するとともに、多様な場面で福祉団体に協力し、支援できている。 | A B C D | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 3 利用者の満足度 | | | |
|------------------|--|--|--|
| ▽ 利用者アンケートの結果 | | | |
| 実施方法 | ▼調査機関:1月13日～1月27日 ▼調査対象:老人福祉センター利用者 デイサービス利用者及びその家族 ▼配布数 :老人福祉センター 400枚 (回収数:318枚、回収率79.5%) デイサービスセンター 52枚 (回収数:52枚、回収率100%) | ニーズの高い健康関連の事業を積極的に取り入れたこと等によるレクリエーション・各種行事に対する評価や、受付カウンターでの対応は、高い評価を頂いた。また、デイサービス部門は、全般的にかなり高い評価をいただいている。今後更に高い評価を頂けるよう、引き続き利用者ニーズの把握や職員の対応などの利用者サービスの向上を図りたい。 | A B C D 満足度の高い事業については、利用者ニーズに沿った業務を実施している結果である。今後も利用者のニーズを把握し、福祉の増進につながる事業を実施してほしい。 |
| 結果概要 | ▼老人福祉センター部門では、特に講座の満足度が93.24%、行事等の満足度が96.42%とかなり高い評価を得ている。また、デイサービスセンター部門では、職員の対応をはじめ各項目で全て満足度90%台後半の評価を得ています。 | | |
| 利用者からの意見・要望とその対応 | 【要望】 ヨガ講座(定員制)を続けて習いたい。 【対応】 より多くの方が受講できる方法として理解いただく。 【要望】 駐車場を増やしてほしい。 【対応】 公共交通機関での利用を随時呼びかけており、更に周知していく。 | | |
| 4 収支状況 | | | |
| ▽ 収支 (千円) | | | |
| 項目 | H28計画 | H28決算 | 差(決算-計画) |
| 収入 | 84,232 | 82,565 | ▲ 1,667 |
| 指定管理業務収入 | 84,004 | 82,298 | ▲ 1,706 |
| 指定管理費 | 41,938 | 41,938 | 0 |
| 利用料金 | 40,616 | 38,823 | ▲ 1,793 |
| その他 | 1,450 | 1,537 | 87 |
| 自主事業収入 | 228 | 267 | 39 |
| 支出 | 83,882 | 77,209 | ▲ 6,673 |
| 指定管理業務支出 | 83,838 | 77,164 | ▲ 6,674 |
| 自主事業支出 | 44 | 45 | 1 |
| 収入-支出 | 350 | 5,356 | 5,006 |
| 利益還元 | 0 | 0 | 0 |
| 法人税等 | 350 | 350 | 0 |
| 純利益 | 0 | 5,006 | 5,006 |
| ▽ 説明 | ▼収入は煙突用アスベスト含有断熱材の剥落によるボイラー停止に伴い、浴室利用料と介護保険収入の減により計画比1,667千円の減であった。 ▼支出については、ボイラー停止による燃料費等の減及び人事異動に伴う人件費の減により、計画より6,673千円の減となったため、収支差は黒字となった。 | | |
| | | 計画通り執行した。 | ボイラー停止に伴う利用料金収入の減があったが、収支の均衡をとり適切に運営した。 |

| ＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。 | | | |
|---|--|---|----|
| ▽ 安定経営能力の維持 当事業の運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら、収支のバランスをとり、安定した経営を行っている | | 適 | 不適 |
| | | | |
| ▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。 | | 適 | 不適 |
| | | | |

III 総合評価

| 【指定管理者の自己評価】 | |
|---|--|
| 総合評価 | 来年度以降の重点取組事項 |
| <p>生きがい支援、教養の向上としての事業展開をはじめ、利用者ニーズが高い体操等の参加型健康事業や、健康に関する情報提供等の行事を適時開催し、高齢者の介護予防や健康的な生活を支援する役割を果たすことができた。また、「地域見守りサポーター養成講座」や「認知症サポーター養成講座」の開催とともに、地域に関わる事業も実施する等、地域福祉を推進し、地域とともに高齢者も社会を支える一員として貢献できるよう意識改革を進めるきっかけ作りができた。</p> | <p>引き続きニーズの反映や地域との連携を深めるとともに、環境にやさしい事業活動を推進していく等、幅広い活動に取り組みながら施設運営の推進を図る。また、当法人には「福祉のまち推進事業」や「ボランティア活動センターの運営事業」を行っている地域福祉部門があり、当該事業と連携することで、施設と地域との連携の強化をさせながら、ボランティア活動の推進を図っていくことができる。これを強みに、高齢者も社会の一員として役割を果たす方法等を模索していく。</p> |

| 【所管局の評価】 | |
|--|-----------|
| 総合評価 | 改善指導・指示事項 |
| <p>施設目的に沿って、適切な運営管理を行っている。利用者ニーズに対応した事業展開を行っており利用促進に繋がっている。 今後、高齢者のボランティア活動等の参加を支援し、地域福祉の増進に寄与することを期待する。</p> | |